

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しています。	
	2	6		法律の定めた配置数以上の職員数で対応しています。	
	3	6		児童の特性に応じた視覚支援や、年齢発達に応じた物の配置・動線作りに努め、定期的に見直しをおこなっています。構造的に段差は少なく、概ねバリアフリーになっています。	
業務改善	4	6		サービス提供前に利用児童の支援について話す時間を設けています。また、定期的な会議を行い、日々の振り返りや業務改善についても話し合い共通理解を努めています。	
	5	6		毎年アンケートを配付し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげています。今後も公式 Web サイトで公開してまいります。	
	6	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7	6		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
8	6		内部研修は定期的に行っており、動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めています。今年度はコロナ対策を行った中で管理者中心に外部研修にも参加する機会がありました。		
適切な支援の提供	9	6		より良い支援のためにアセスメントを適切に行い、しっかりと保護者様から情報を聞き取り、記録し、支援計画作成に活かしています。	
	10	6		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。	
	11	6		季節に合ったものを取り入れたり、運動・言語療育のプログラムを定期的に取り入れるなど、職員間で話し合い、立案しています。	
	12	6		児童の状況に合わせて、個別療育の他、イベントや製作・集団活動も取り入れ、活動が固定化しないよう工夫しております。また、利用頻度が少ない児童に関しては、イベント等に参加できるよう日程を調整しております。	
	13	6		平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	
	14	6		個別の療育を基本とし、集団活動も取り入れた利用児童の特性に応じた支援計画を作成しております。また支援計画の作成で重要視しているのは、その利用児童に必要な活動内容であるのかを十分に勘案することだと考えております。	
	15	6		その日の役割分担などについては職員間で必ず確認しています。また、必要に応じて児童の様子も情報共有を行いながら、共通認識を図っています。	
	16	6		支援終了後の打ち合わせは翌日の朝に時間を設け、振り返りをおこなっています。勤務の関係で打ち合わせに参加できない場合は、連絡ノートを活用し、共通理解に努めています。	
	17	6		日々、支援経過の記録を徹底し、検証・改善につなげています。記録は、出来たことだけでなく、苦しいこと・課題なども記録するようにし、より良い支援につなげています。	
18	6		少なくとも 6 カ月に 1 回はモニタリングを実施し、支援計画の見直しをおこなっています。		
19	6		ガイドラインに沿って、支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めています。また日々の打ち合わせや会議で児童の成長度合い・新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しています。		
関係機関や保護者様との連携	20	6		担当者会議には、児童の状況に精通している児童発達支援管理責任者が参加しています。会議の内容は持ち帰り、職員間で共有しています。	
	21	6		担当者会議や送迎時に情報共有をするとともに、学校が発行している行事予定をいただき、情報共有に努めています。	
	22	6		現在の医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	6		担当者会議を通して支援内容等の情報共有と相互理解を図り、支援の方針を統一するよう心がけています。	
	24	5	1	現在はまだ対象児童はおりませんが、就労に向けた相談があれば、助言や情報提供を行い、就労先とも連携をとってまいります。	今後、対象となる児童が卒業する際には、関係機関等へ必要な情報を提供し、移行先での活動に役立てられるよう努めます。
	25	6		事業所を併用している児童については担当者会議で情報共有に努め、相談支援専門員を通して様子をつかっています。	
	26	6		個人情報の関係もあり、活動する機会が実現できていませんが、保護者様のご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	27	1	5	状況に合わせて参加するようにしています。	日程の調整が難しい場合もありますが、自身に必要な研修・講演等に参加できるようにしていきます。
	28	6		送迎時や連絡帳にて、児童の様子をお伝えし、発達状況や課題について共通理解に努めています。また、電話連絡や面談の場を設け、より密な情報共有に努めています。	
29	6		家庭連携を通じて保護者様のお悩みやお困りごとなどをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをお伝えするよう努めています。また、ご家庭での協力が必要な場合にはご提案をさせていただきます。可能な範囲で取り組んでいただいております。		
保護者様への説明責任	30	6		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	
	31	6		お悩みのご相談があった場合は、その都度助言をおこなっています。また、いただいたご質問やその場での回答が難しい内容は一度持ち帰り、迅速な対応を心がけています。	
	32	1	5	個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえて、交流会等の機会を検討してまいります。
	33	6		苦情には窓口と責任者を設け、利用開始時にお知らせしております。また毎日の利用の中でのご意見・苦情には、その日のうちに事業所内で報道相をおこない、改善策を保護者様に提案しております。	
	34	6		公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしており、「COMPASS だより」を季刊発行しています。また、事業所便りを毎月配付し、児童の日々の様子や行事の様子などを写真とともにわかりやすく掲載しています。	
	35	6		個人情報に関する書類は、鍵付き書庫で保管し、取り扱いには十分配慮しています。また、写真や動画の撮影が必要な場合は事前に保護者様に許可をいただいております。	
	36	6		児童には状況や特性に合わせた伝達方法を用いています。保護者様には連絡帳を始め、口頭でも伝達しており、専門用語は避け、わかりやすい言葉を使うよう心がけています。	
	37	6		個人情報の関係もあり、保護者様の集まる機会が実現できていませんが、ご意向を踏まえつつ、必要に応じて今後検討してまいります。	今後、保護者様のご意見も伺いながら検討してまいります。
	38	6		各種マニュアルを策定するとともに、事業所に掲示して保護者様にご案内していただいております。また、定期的な訓練も実施しています。	
非常時等の対応	39	6		避難訓練は、児童も参加しての訓練を年間を通して 4 回実施しています。訓練の様子も事業所便りを通してお伝えしています。	
	40	6		事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めています。	
	41	6		利用契約書では、原則として身体拘束は禁止となっておりますが、止めを必ず必要とする場合には、保護者様に十分なご説明をおこない、承諾を得て支援計画に記載するようにしています。	
	42	6		現在、対象となる児童のご利用はありません。	今後、アレルギー等のある児童の受け入れの場合は、医師と連携し指示書に基づき正しい対応を熟知して、安全な支援に取り組んでまいります。
	43	6		ヒヤリハット事例を作成して、職員間に周知し再発防止に努めています。作成時には、今後の安心安全な事業所運営に活かすため、状況の説明・対策を事細かに、かつ、わかりやすく記録するように心がけています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。